

平成27年第1回(3月)
久山町議会定例会

一般質問通告書

質問順	議員氏名
1	佐伯 勝宣
2	阿部 哲
3	本田 光
4	松本 世頭
5	吉村 雅明
6	阿部 文俊
7	有田 行彦

平成27年第1回(3月)久山町議会定例会 一般質問通告書

平成27年3月9日(月)9時30分～

質問順1番 佐伯 勝宣

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 久山道の駅事業と食のひろばについて	<p>①昨年12月議会には、「食のひろば」観光交流センター事業の予算はあがっていなかった。当初、新設される県道の取り付けの件もあり、12月議会にて、「食のひろば」を進めるかどうか議会として意思決定をとる町長の要望だったが、どういうことだったのか。</p> <p>②昨年9月議会は、いったん久山道の駅事業の関係全体をもう一度チェックする意味での予算否決だった。議会がチェックを入れる前の食のひろば遂行の意思表示はどういうことか。</p> <p>③平成26年3月議会で承認した予算、観光交流センター等整備事業費に関し、具体的に国土交通省から補助が付いた経緯説明を。</p> <p>④昨年12月議会の時点、国交省の補助金は枠として確保されているが、実際はまだ町に支払われた段階ではなかった。議会への説明は誤解を招くものだったと考えるが。</p>	町長
2. 町の子育て支援センターについて	<p>①会計検査院による目的外使用の指摘について。昨年12月議会において補助金1984万円を国交省に返還すること、また追加議案として町長・副町長の1ヶ月分の給与減額処置が可決された。町は展示住宅の適正な管理に対する認識が欠けていたのでは。</p> <p>②今後、国の久山町へのペナルティ処置はあるのか。</p> <p>③議会への報告時期は適正であったと考えるか。また、行政運営の責任の取り方として、町長副町長の給与1ヶ月分の減給はどのような基準で決められたのか。なぜ、議会最終日になっての追加議案だったのか。</p>	町長
3. 会議録の取扱について	<p>平成26年6月議会における、私の中学校給食導入問題の一般質問、町長の発言「議長」が「教育長」に置き換わっていた件。改めて町長は、関係者として議会側に対し再発防止を本会議の場で意思表示すべきでは。</p>	町長

平成27年第1回(3月)久山町議会定例会 一般質問通告書

平成27年3月9日(月) 9時30分～

質問順2番 阿部 哲

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 久山町の森林保全・農地保全対策について</p>	<p>① 昨年6月議会一般質問で、久山町の森林、自然環境をこれから50年・100年と繋げていくためにも、植林・保育等の久山独自の補助金制度創設について、公有林協議会で意見を聞き進めていくと回答されたが、現在の進捗は。</p> <p>② 森林保全・整備には、専門的な特性が多いので、専門職員の育成等の人的整備について、専門的知識人材は必要だ、当面公有林協議会の中に広域森林組合から1名をと回答されたが、現状と今後の考えは。</p> <p>③ 有害鳥獣駆除対策について、森林保全・農作物への被害が増え続けており、耕作放棄地の増加の原因にもなっている。また、住宅地周辺にも多く出没して、交通事故や人的被害も懸念され効果的対策が急務、駆除対策の考えは。</p> <p>④ 駆除対策として、捕獲後の処理解体などを迅速にし、特産品としての活用のため、鳥獣食肉加工センター設置の考えは。</p>	<p>町長</p>

平成27年第1回(3月)久山町議会定例会 一般質問通告書

平成27年3月9日(月)9時30分～

質問順3番 本田 光

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 久山道の駅・食のひろば開発計画について</p>	<p>改めて問う。</p> <p>①「株式会社食のひろば」は、民間の営利を伴う事業体である。久山町役場を所在地、本店としているが実体がない。登記簿や定款によると町が500万円出資、株式会社フォアサイト・アンド・カンパニーが300万円出資で、資本金800万円の会社である。町長、副町長は取締役として就任、町職員の松原氏は監査役となっている。具体的に、どんな要件の職務を遂行されているのか。</p> <p>②久山町役場を所在地、本店とすること自体が問題であり、行政管理上、不適正だと考える。直ちに契約を解除し、久山町役場、所在地外に移転登記を行うよう強く求めたい。</p> <p>③昨年、8行政区において、町民懇談会(7/16～8/5)が開催され、参加者に資料が配布された。資料の中には、道の駅・食のひろば整備方針が記述されている。参加者からの質問では、年間の収益は、どの位を見込んでいるのかとの問に対し、町長は4億円位を見込んでいると答弁。その後の議会は、関連予算・修正予算案を賛成多数で可決。町は事業内容を変更したにもかかわらず、町民への再説明は行われていない。年収4億円の根拠も空論で、計画のシナリオは余りにもずさんである。従って、町当局、議会は、この事業が本当に町民全体の利益にかなっているのかどうかを焦らず、冷静に検証してはどうか。</p> <p>④検証して町民に公開することは、決して恥ではない。むしろ、信頼関係が強まると思う。従って、観光交流センター(道の駅・食のひろば・レストラン)整備計画は、いったん白紙に戻して住民合意を得て再出発してはどうか。</p>	<p>町長</p>

平成27年第1回（3月）久山町議会定例会 一般質問通告書

平成27年3月9日（月）9時30分～

質問順3番 本田 光

質問事項	質問の要旨	質問の相手
2. 公共交通・特にエコバス（コミュニティバス）に代わり得る交通手段の確保を	<p>昨年12月議会・一般質問で、エコバス（コミュニティバス）運行から3年になるが、平日はもちろん、土曜、日曜日の利用者数は少ない。利用者の目的、何故、利用者が少ないのかについての理由を、一般質問でも述べた。従って、エコバスに代わる交通手段、10人乗り位のジャンボタクシー（デマンド乗合タクシー）また、町内の個人タクシー事業者と協議、契約するなど交通弱者対策、地域交通全体に責任を持つという姿勢が必要ではないのかと質問した。これまで、どのように検討され、実践されようとしているのか。</p>	町長
3. 子ども医療費助成対象拡大を	<p>高齢化が進む社会のもと、少子化対策、子どもを子育てられる社会の確立、低迷する景気・経済への対策も必要である。子ども医療費助成について、糟屋地区1市7町で自治体の内容に違いがあり、どこに生まれ、どこに住んでいても等しく医療が受けられるよう国の制度が急がれる。昨年12月議会・一般質問に対して町長は、糟屋地区市町長協議会、特に糟屋郡町長会で協議・検討していきたいと答弁。福岡市は現在、小学6年生まで無料の入院費を来年1月から中学3年生まで対象を拡大するとしており、県も子ども医療費助成を拡大するとされているが、今後どのようにされる考えなのか。</p>	町長

平成27年第1回(3月)久山町議会定例会 一般質問通告書

平成27年3月9日(月) 9時30分～

質問順4番 松本 世頭

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 農業活性化について	<p>①全国に設置してある道の駅の直売所には、250名以上の利用組合員がいるため、地元の産直市場が成り立っている。昨年の3月議会で、町民の意見をきいて修正予算を提出した。その時に提言した本町の生産者また利用者の実情など調査されたのか。</p> <p>②町の活性化は必要不可欠と思うが、久山町のもつ豊かな自然のイメージが損なわれる心配がある。観光交流センター事業の前に、新規就農者への働きかけを行い、町独自で農業施設補助等を早急に行うべきではないのか。また、認定農業者の認可等積極的に行う考えはないか問う。</p> <p>③検討委員会を立ち上げたと聞かすが、久山の農業を考える委員会に、農業委員長や認定農業者はメンバーに入っているのか。</p> <p>④私は行政が頑張れば頑張るほど、民間は行政に依存してしまうという矛盾が働くと考える。本町の観光交流センター事業がこの例ではないか。近隣の道の駅では、町の一般財源から道の駅に年間400万円補てんするところもある。また、開設以来、経営不振で累積赤字が1億円に膨らんでいる所もある。観光交流センター事業が、この様にならないとも限らない。責任は町長が取るとされているが、町長を辞めても道の駅が続く限り責任を取る決意はあるのか問う。</p> <p>⑤補助金をもらおうと地元産品の比率を一定にするなどのルールがあると聞いている。久山観光交流センターは、そのような問題はクリアできるのか。問題はないのか。町長の見解を問う。</p>	町長
2. 久山中学校給食について	<p>12月議会で町長は、中学校給食については、子育て支援を含め前向きに検討すると答弁された。町長の答弁を受け、教育委員会では、どのような議論をされたのか。また、新年度はどのような調査研究を進められるのか。教育長に伺いたい。</p>	教育長

平成27年第1回(3月)久山町議会定例会 一般質問通告書

平成27年3月9日(月)9時30分～

質問順5番 吉村 雅明

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 今後の「地方創生」の対応について	<p>本年度から具体的に国の「地方創生」事業が推進される。これは、今までの地方制度や権限、事務の移譲に関する問題ではなく、地方への定住が進むための諸施策を総合して行うというもの。町としてのこれに対する方策、考え方は。</p>	町長
2. 第3次「久山町国土利用計画」についての措置状況は	<p>この目標年次まで、あと2年。特に答申内容の8項目の中で</p> <ul style="list-style-type: none"> 1の、目標人口フレーム13,500人の実現。 3の、隣接市町の交通機関とつながるアクセス整備。 5の、地域活性化の視点からの新たな工業用地等を創出し、優良企業の誘致。 6の、農業については担い手の育成対策。 7の、森林については、林業の振興活性化について <p>以上、5項目の措置対応と進捗状況についてお聞きしたい。</p>	町長

平成27年第1回（3月）久山町議会定例会 一般質問通告書

平成27年3月9日（月）9時30分～

質問順6番 阿部 文俊

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. オリーブ栽培の普及について</p>	<p>住民の健康づくりの一環として町では平成23年からオリーブの試験栽培が行われています。オリーブが普及すると町の景観もよくなり、オリーブオイルを使った久山町の特産物の開発など、オリーブによる町の活性化は明るいと思われます。試験栽培も4年が経過しましたが、町長は将来展望についてどのようにお考えですか。</p>	<p>町長</p>

平成27年第1回(3月)久山町議会定例会 一般質問通告書

平成27年3月9日(月)9時30分～

質問順 7番 有田 行彦

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 道路整備について	<p>①県道猪野篠栗線が27年度内に供用開始となるが、平成26年10月地元説明会の中で、1日4000台の車両の通行が予測されると説明があった。供用開始が始まると、高橋池周辺のカーブを含め危険が増す。交通量増加に伴い危険度は増すばかり、町は安全対策をどのように考えているか。</p> <p>②県道猪野篠栗線に接続する都市計画道路高橋原線は、いつ着工されるのか。</p> <p>③筑紫野古賀線(県道35号線)のバイパス的要素である新宮～久山～須恵線の現状は。</p>	町長
2. 市街地の環境保全について	<p>①久山町環境保全条例の第16条に空家・空地の適正管理を義務づけている。管理不十分な空家が、町内に何軒あるか、町は把握しているのか。また、条例に基づき所有者に対し、改善するように勧告、除去命令されたことはあるか。</p> <p>②管理不十分な所有者に対して、土地にかかる固定資産税の軽減対象から外し、見直したり、名前等を公表してはどうか。</p>	
3. 猪野・山の神地区整備について	<p>①猪野・山の神地区整備計画と昨年10月町長が立ち上げられた単独型観光交流センター構想との関連はあるのか。</p> <p>②まちづくり懇談会で、町長が町民に話された内容と構想が変わった。猪野・山の神地区整備研究会の内容がまとまれば、町のトップとして、再度、町民に説明する義務があると考えているが、町長の考えを伺いたい。</p> <p>③現在、役場に住所を置いている(株)食のひろばは、登記されて1年過ぎたが、(株)食のひろばの現状と今後を伺いたい。</p> <p>④町長が構想している観光交流センターは、町が施設整備等を行い、管理運営は(株)食のひろばが行うのか。(株)食のひろばは、町が出資している。仮に、運営が行き詰まった場合、町に救済を求めてくるという心配はないのか。</p> <p>⑤昨年3月議会での25年度補正予算約1億9379万円は議決後1年が経つが予算執行はどうなっているのか。</p>	